

厚陽っ子だよ!



令和3年6月1日 (第78号) 厚陽学校支援地域教育協議会

「いよいよ梅雨の季節がやってきましたね。」という冒頭の挨拶を考えていたのですが、今年の山口県は、5月15日(統計開始以降2番目の速さ)に梅雨に入ってしまった。その分、早く梅雨が明けるとか、それとも梅雨が長くなるのか、どちらにせよジメジメした日が暫く続きそうですね。こんな時は、「梅雨の時期だからこそできること」を考えてみるのも良いかなと思います。例えば、自分が凄く気に入っている傘やレインコートなどの雨具を準備しておけば、梅雨はいつもより少しだけ楽しいものになるかもしれません。梅雨があまり好きではない方は、もしよろしければ「この時期にしかできないこと」を探してみてくださいね。

★成人式 のようす

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が延長されておりました令和2年度の成人式が5月2日に開催されました。現在もコロナ禍ということもあり、市民館と不二輸送機ホールの2か所に分け、さらに1部2部と地区を分けることにより、密にならないように対策を行いながらの開催となりました。新成人となった参加者からは懐かしい顔を見つけたのかたくさんの笑顔があふれていました。厚陽地区の集合写真の中には、もしかしたら地域のみなさんの知っている方がいらっしゃるかもしれませんね。



★(保育園)ミニうんどう会がんばったよ!

コロナ禍の中ですが、ミニうんどう会ウィークを設け、3日間に分けて、保護者の方にお子さんの園での様子を見ていただきました。

入園したお子さんは初めてのかけっこで沢山の拍手をもらい笑顔いっぱい!年長組さんは真剣なまなざしでスタートに立ち、おうちの方の応援をパワーに変え、ゴールを目指していました。



＜裏面へ続きます＞

★さつまいもの苗を植えたよ！



毎年、地域の方々にご協力をいただき、子どもたちに、芋苗を植える体験をしてもらっています。5月20日は、「警報級の雨」ということが事前に分かっていたため、今年は子どもたちの参加は中止し、朝の早い時間から地域の方々が芋苗を植えてくださいました。

厚陽小学校の1年生達は、雨が一瞬収まった時間に、植えたばかりの芋畑を見に来てくれました。子どもたちは、たくさんの種類がある芋苗に興味津々に見つめていました。

5月21日には、保育園の子どもたちが、地域の方々から預かった芋苗を園内の畑に植えてくれました。芋苗の名前と植え方を知らせると、「大きくなってね」と優しく声をかけながら、そっと土の布団をかけていました。



★第一回地域教育協議会を開催しました。(R3.5.13)

4月28日に開催した「学校運営協議会」を受け、地域として学校・子どもたちのために何をすることができるかを考える、「地域教育協議会」を開催しました。会議の中で、「厚陽地区をもっと気持ちの良い挨拶が飛び交う地域にしたい！」という素晴らしい提案がありました。まずは、大人から積極的に挨拶をしていくことで、子どもたちも安心して挨拶ができる環境を地域で作っていきたいですね。

★児童預かり支援 (R3.5.7)

今年度初めての学校支援は、保護者懇談会の中の児童預かり支援でした。図書室ということもあり、まずは宿題をしようねと声をかけました。大きなマスにひらがなを書いていく一年生。『絵日記と自主学習と・・・』とたくさんの宿題が出ている学年。「見て見て！」との声が聞こえ覗いてみると、どの子どもとても丁寧に取り組んでいました。今回の支援は初めての試みでしたが、授業のお手伝いだけでなく、普段の子どもたちの様子を観に学校へ行くのも良いですね。



学校支援をはじめ、各種活動にご協力いただける方を募集しています。
できる時にできる範囲で構いません。お気軽に事務局までご相談ください♪

【厚陽学校支援地域教育協議会事務局（厚陽公民館）】TEL 74-8400 FAX: 75-0628